



ノーステック財団が北海道の産学連携強化を目指して開始した「チャレンジフィールド北海道」は、今年で6年目を迎えます。これまで大学・企業・自治体・地域コミュニティが一体となり、多様な技術開発や社会課題解決に向けた取り組みを重ねてきました。本シンポジウムでは、大学・企業・地域を巻き込んだこれまでの活動を紹介するとともに、北海道の未来を見据えた取り組みを考える機会とします。大学発の地方創生に関する講演や、道内関係者による実践事例の紹介を通じて、産学官のつながりを一層強化し、北海道における産学連携の加速をめざします

広がる地域連携の力

— 北海道で実現する共創とイノベーション

チャレンジフィールド北海道シンポジウム

2026年2月27日(金) 14:30-17:30

会場 京王プラザホテル札幌 3階 雅の間

札幌市中央区北5条西7丁目2-1

参加費無料・要申込 (定員100名)
申込締切:2月25日(水)

詳細・申込:<https://forms.gle/wFvYEGMVCvVGhFDt5>
当サイトの専用フォームからお申し込みください。



基調講演

大学を起点とする地方創生とイノベーション

三重大学 大学院地域イノベーション学研究科
教授 西村 訓弘 氏

1987年(株)神戸製鋼所入社。同社退社後、米国企業等の研究員を経て、2000年(株)ジェネティックラボ創業に関わり、2002年に同社代表取締役就任。2006年に三重大学医学系研究科教授就任、2016年から現職。2020年10月からクロスアポイントメント制度で宇都宮大学教授を兼務。JST共創の場形成支援プログラムPO、第3期SIP「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」PDを担当。



情報提供

取組紹介

ポスターセッション・交流会

※各プログラムの詳細は裏面

問合せ

ノーステック財団(チャレンジフィールド北海道) 事業戦略統括部 伊藤・上ヶ島
札幌市北区北21条西12丁目コラボほっかいどう
TEL:011-792-6150 / メール:yugo@noastec.jp

プログラム

14:30 開催挨拶 藤井 裕(北海道科学技術総合振興センター 理事長)
14:35

14:35 基調講演
15:25 大学を起点とする地方創生とイノベーション
三重大学 大学院地域イノベーション学研究科
教授 西村 訓弘



15:25 情報提供
15:35 経済産業省からのご挨拶と情報提供
経済産業省 イノベーション環境局 大学連携推進室

15:35 取組紹介
16:25 酪農業におけるDXの取り組み
株式会社リープス
代表取締役 鈴木 善人



温度で変わる調光材料の社会実装
～基礎研究シーズ活用による新たな価値創造～
国立大学法人 室蘭工業大学
しくみ解明系領域 化学生物工学ユニット
准教授 馬渡 康輝



道内広葉樹の資源管理と
効率的活用を目指したDX推進
国立大学法人北海道国立大学機構 北見工業大学
社会連携推進センター
准教授 三枝 昌弘



“溶接”を未来へ
～研究から教育,人材育成へ～
北海道科学大学 寒地先端材料研究所
工学部機械工学科
教授 齋藤 繁



16:25 報告
16:30 CFH自走化と今後の展望

北海道科学技術総合振興センター
常務理事 工藤 昌史

16:30 ポスターセッション・交流会
17:30

産学官の30以上の取り組みについて紹介するポスターセッションです。

発表者らとの交流や名刺交換など、道内のいろいろな組織の取り組みへの質問や意見交換を通して、新しい連携の構築などに繋げていただければと思います。

発表組織(予定)

北見工業大学、室蘭工業大学、旭川市立大学、公立ほこだて未来大学、酪農学園大学、北海道科学大学、北海道教育大学、産総研北海道センター、旭川工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、公益財団法人室蘭テクノセンター、公益財団法人函館地域産業振興財団、三笠市、北海道、北海道立総合研究機構、北海道経済産業局